

報道関係各位

自宅で中央病院のがん支援の最前線を体感
「がん患者さんのサポートと生活の工夫展」
 3月7日から4月30日までオンライン開催
がん患者さんのスポーツ活動に関わるパネルディスカッションを3月11日ライブ配信

2023年2月15日

国立研究開発法人国立がん研究センター

国立研究開発法人国立がん研究センター(理事長:中釜 斉、所在地:東京都中央区)中央病院(病院長:島田 和明)は、がん患者さんが「がんになっても安心して暮らせる社会」を目指し、治療中のがん患者さんに様々な生活の工夫をご紹介する「がん患者さんのサポートと生活の工夫展」(以下、「生活の工夫展」)を2023年3月7日(火)から4月30日(日)までの55日間、オンラインで開催します。

中央病院では、2016年9月に患者サポートセンター(中央病院8階)を開設し、患者さんのQOLを重視したサポートを看護師や薬剤師、栄養士、医師など多職種のチームで実践しています。生活の工夫展では、患者サポートセンターで中央病院の患者さん向けに行っている患者教室などを10トピック19本の動画にし、開催期間中に一般公開します。今年は「つながる」をテーマとし、がん患者さんが地域とつながるための地域・社会のリソースの活用法や社会とつながるためのアピランスケアなど、最前線のがん支援をご自宅で体感いただけます。

また、3月11日(土)には「多職種パネルディスカッション:私たちがってスポーツしたい!」をライブ配信します。スポーツに関心が高いAYA世代(15歳から39歳の思春期・若年成人)にがん罹患し、治療によって四肢機能障害が生じたサバイバーに対し行ったスポーツ活動に関する調査研究の結果をもとに、ご自身もがんサバイバーで車いすバスケット前日本代表ヘッドコーチの及川晋平氏らをお招きし、悪性骨腫瘍の診療に関わる医師、作業療法士などがAYA世代のがん患者さんのスポーツ活動への支援や潜在的ニーズについて討議します。

その他にも、3月9日(木)には中央病院のAYA世代のがん患者さんが集う「AYAひろば」を一般公開し、AYA世代のがん患者さんが「つながる」場を提供します。

「がん患者さんのサポートと生活の工夫展」開催概要

サイト URL <https://www.ncc.go.jp/html/nccch/event2023/index.html>
 公開期間 2023年3月7日(火)9時から4月30日(日)17時
 参加費 無料
 対象者 がん患者さんと家族などどなたでも参加可
 (AYAひろばのみ事前登録制)

国立がん研究センター
 中央病院
 National Cancer Center Hospital
 All Activities for Cancer Patients
がんになっても安心して暮らせる社会を目指して
がん患者さんのサポートと生活の工夫展 オンライン

がん患者さんとそのご家族が快適に暮らすための様々なサポート・工夫・情報のご紹介。暮らしに役立つセミナーや患者教室をオンライン開催し、みなさまとともに「がん患者さんの暮らし」を考えます。

テーマ『つながる』
 患者さんと家族を取り巻く医療者や社会のリソースが、患者さん同士が、そして、患者さんと家族や大切な人たちが「つながる」ためのプログラム、情報などのサポートをご用意しています!
 開催日程: 令和5年3月7日(火)9:00開始
 令和5年4月30日(日)17:00終了
 アクセスはこちら!
<https://www.ncc.go.jp/html/nccch/event2023/index.html>
 予約・登録は不要、参加費無料です。QRコードからどうぞ!
 (オンライン患者サロン「AYAひろば」のみ事前登録が必要です)

「つながる」セミナー
 1. がん情報ナビゲーション
 2. がん相談支援センター
 3. がん相談支援センター
 4. がん相談支援センター
 5. がん相談支援センター
 6. がん相談支援センター

患者教室
 1. がん相談支援センター
 2. がん相談支援センター
 3. がん相談支援センター
 4. がん相談支援センター
 5. がん相談支援センター
 6. がん相談支援センター

資料公開コーナー
 1. 生活の工夫カード
 2. がん相談支援センター

オンライン患者サロン AYAひろば
 AYA世代のがん患者さん同士が集って交流や情報交換する場です。お気軽に参加してください!

多職種パネルディスカッション (AYA-Spo) 研究結果共有
「私たちがってスポーツしたい!」 (2023年開催) 研究結果共有
 がん相談支援センター がん相談支援センター

プログラムの詳細は当院公式ホームページをご覧ください
 主催: 国立研究開発法人 国立がん研究センター中央病院

動画配信

中央病院患者サポートセンターで行っているサポートから 10 トピック 19 本の動画を公開します。イベント開催期間中にいつでも閲覧可能です。全国どこからでもご都合に合わせてご視聴いただけます。

トピック	内容(○囲みの数字は動画の本数です)
地域・社会のリソース活用	① 医療ソーシャルワーカーや看護師が入院前から行っている入退院支援を通して「地域とつながるとはどのようなことか」を解説します
明日へつながる食事の話	① がん治療で生じる食事に影響する症状別の食事対策から栄養バランス・栄養価アップの簡単レシピを紹介
社会とつながるための アピランス(外見)ケア	① 基本のケア方法(脱毛・爪・肌) 概要編 ② 外見が変わった時の人付き合いのコツ コミュニケーション編
親と子サポート教室	① 親子の気持ちがつながる～モヤモヤは誰でもある～
リンパ浮腫セルフケア教室	① お知らせしたいリンパ浮腫の知識ケア ② セルフリンパドレナージ上肢編 ③ セルフリンパドレナージ下肢編
抗がん剤治療教室	① 治療による副作用対策 概要編 ② 生活の工夫編
治験・臨床試験教室	がんの臨床試験についての疑問にお答えします ① 臨床試験ってなあに？ ② もし臨床試験に参加したら ③ 臨床試験に参加したい時
膵がん・胆道がん教室	膵がん治療に役立つ情報を、医師、心理士、看護師、薬剤師、栄養士、医療ソーシャルワーカーが解説 ① 入門編 A ② 入門編 B ③ 応用編
緩和ケア教室	① 緩和ケアってなあに？ ② スキンケアでつながろう
こころに寄り添うこと	① 精神腫瘍科ってどんなところ？ 受診をお勧めする症状を紹介



社会とつながるための
アピランス(外見)ケア



親と子サポート教室



リンパ浮腫セルフケア教室

ライブ配信「多職種パネルディスカッション:私たちがってスポーツしたい！」

AYA 世代のがん患者さんのスポーツ活動の実態や潜在的ニーズ、支援状況についての調査結果を発表し、求められる支援について討議します。

ライブ日時 2023年3月11日(土)13時から14時(収録して後日配信)
主な出演者 中央病院 骨軟部腫瘍・リハビリテーション科 医師 岩田 慎太郎
中央病院 骨軟部腫瘍・リハビリテーション科 作業療法士 大木 麻美
車いすバスケット前日本代表ヘッドコーチ 及川 晋平氏 他4名

車いすバスケット前日本代表ヘッドコーチ 及川 晋平氏 について

16歳の時、骨肉腫のため右足を失い5年間の闘病生活を経験したがんサバイバーです。その際に、車いすバスケットと出会い、2000年シドニーパラリンピックに出場しました。2013年から男子日本代表のヘッドコーチに就任し、日本代表チームを東京2020パラリンピック銀メダルに導きました。今回は、東京2020パラリンピックの軌跡から、AYA世代のがん患者さんに求められる支援とその必要性についてお話しいたします。



オンライン患者サロン AYA ひろば

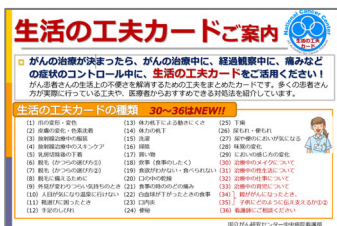
中央病院では、通院している患者さんを対象に AYA 世代のがん患者さん同士が集まって交流や情報交換する場を提供しています。3月9日(木)の AYA ひろばでは、中央病院の患者さんだけでなく全国の AYA 世代の患者さんを対象とし、全国の AYA 世代のがん患者さんが「つながる」場を提供します。

開催日時 2023年3月9日(木)15時から16時
対象 15歳から39歳のがん患者さん
定員 30名
参加方法 事前登録制(右のQRコードを読み取ってください)
<https://www.ncc.go.jp/ncch/AYA/060/index.html>
締め切り 3月8日(水)



生活の工夫カード

「生活の工夫カード」とは、中央病院の看護師が患者さんの声を拾い上げ、看護師の立場からの知識や技術を補強し、患者さんと看護師と一緒に作成した、がん患者さんの療養生活の工夫がまとめられたカードです。全種以下の URL または QR コードからダウンロード可能ですので印刷してご活用ください。
https://www.ncc.go.jp/ncch/division/nursing/division/support_card/index.html



問い合わせ先

- 一般からの問い合わせ先

国立がん研究センター 総務部総務課

〒104-0045 東京都中央区築地 5-1-1

TEL:03-3542-2511(代表)

- 報道関係からの問い合わせ先

国立がん研究センター 企画戦略局 広報企画室

〒104-0045 東京都中央区築地 5-1-1

TEL:03-3542-2511(代表)

E-mail:ncc-admin@ncc.go.jp